

2018 年度 桐朋女子中学校入学試験 (A 入試)

口頭試問 課題 1 ～ 4

【注 意】

前半の時間（13分）で、問題文を読み課題1～4に答えなさい。

課題1～4が終わっても、指示があるまで課題5～6（緑の冊子）

に進んではいけません。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

【課題 1】

ひごろ
日頃、よく見る衣服のうち、次の①～⑤は、「被^{おお}う」、「装^{よそお}う」のどちらの意味合いが強いものか、考えて番号で答えなさい。

- ①花柄^{はながら}のブラウス ②レインコート ③駅員さんの服
④下着 ⑤ドレス

「被^{おお}う」という意味合いが強い衣服

「装^{よそお}う」という意味合いが強い衣服

【課題 2】

「日本人の伝統的な衣服の材料」の文章を読んで、次の表の〔 〕に適する文を入れなさい。

	どのように使われたか
きぬ 絹	〔 〕
あさ 麻	〔 〕 〔 〕 袴として。
もめん 木綿	〔 〕 〔 〕 旗、のぼりとして。 鉄砲の火縄として。 船の帆として。
けおりもの 毛織物	〔 〕

【課題 3】

木綿が使われ始めた室町時代とは、どういう時代のことですか。次の中から最もふさわしいものを選び、下の□に番号で答えなさい。

- ①藤原道長が^{せつしょう}摂政となって、政治を動かした。
- ②源頼朝が幕府を開き、^{ごけにん}御家人をたばねて政治を進めた。
- ③足利尊氏が京都に幕府を開き、守護大名を統制して政治を行った。
- ④豊臣秀吉が全国を統一し、大阪城を築いた。

【課題 4】

衣服は、同じ形のものでも、素材によって着心地は大きく違います。

素材の触り心地や、着心地を表す言葉も、色々あります。

封筒の中から、絹、麻、木綿の3枚の布をはった紙を取り出し、次の問いに答えなさい。答えは1つの枠にいくつ書いてもかまいません。

(1) 3枚の布を触り、布の特徴や触り心地を記入しなさい。

(2) それぞれの布は、具体的にどんな衣服に適していると思うか、それぞれの布の特徴を考えて書きなさい。

	(1) 布の特徴や触り心地	(2) 適する衣服
絹		
麻		
木綿		

